



立野

校訓
一 一 一
敬 明 健
愛 朗 康

宮城県立石巻支援学校

〒986-0861

宮城県石巻市蛇田字新立野 410 番の 1

TEL 0225-94-0202

FAX 0225-94-0206

ishinomaki-hs@pref.miyagi.jp

http://syou.myswan.ne

石巻支援学校 学校便り 平成24年度 第7号 平成24年10月1日発行

遊んで、食べて、創って!! 思い出いっぱい 小学部修学旅行

小学部修学旅行 1日目 (9/13 木)

- 8:20 出発式
- 8:30 学校出発
- 11:00 リナワールド
- 15:00 高橋フルーツランド
(ブドウ狩り)
- 16:30 ホテルニュー村尾



小学部修学旅行 2日目 (9/14 金)

- 7:00 起床朝食
- 9:00 ホテル出発
- 9:30 制作体験活動
(平清水焼き)
- 11:45 山形観光物産館
- 13:30 山形観光物産館出発
- 16:00 学校着



お家の人に「いってらっしゃーい。」とお見送りを受けて、大型バスの移動中、みんなわくわくした様子でした。二日間とも晴天に恵まれて、リナワールドではたくさんの乗り物を体験して、楽しむことができました。ブドウ狩りでは旬の甘いブドウをいっぱい食べました。ホテルでは豪華な食事やお風呂を体験しました。焼き物作りでは、粘土にふれて自分なりの模様をつけて作ることができました。楽しい思い出がたくさんできた二日間でした。

中1校内宿泊学習

中学部校内宿泊 1日目 (9/20 木)

- 10:00 結団式(視聴覚室)
- 10:40 プール
- 13:30 イオン
- 18:00 夕食
- 21:30 就寝

中学部校内宿泊 2日目 (9/21 金)

- 6:00 起床
- 7:30 朝食
- 8:30 荷物整理
- 10:00 プール
- 11:20 解団式(視聴覚室)



1日目はサーティワンアイスを食べにイオンに行きました。夕食はパーティ形式でハンバーガー、ポテト、チキン、宅配ピザなど現代っ子が好きなものばかり。食後はカラオケ大会で隠れた芸を披露してくれる生徒もいました。食事や布団の準備、片付けも自分たちで行い充実した二日間を過ごしました。

10月の行事予定

日	曜	予定
1	月	体重測定高3男子
2	火	体重測定高2男子
3	水	体重測定高1男子 □PTA施設見学(加美パルコ・石巻市内福祉事業所等)
4	木	体重測定高女子
5	金	体重測定中
6	土	
7	日	
8	月	体育の日
9	火	体重測定小
10	水	
11	木	学校祭校内発表
12	金	□医療的ケア巡回指導⑤
13	土	学校祭
14	日	
15	月	振り替え休業日
16	火	初任研体験研修2
17	水	高等部入学希望者教育相談 (本校中学部3年~19)
18	木	
19	金	□作業療法士巡回指導① □理学療法士巡回指導③ □音楽療法士巡回指導④
20	土	
21	日	
22	月	高等部修学旅行事前検診(13:00~) 高等部入学希望者教育相談 (管内中学校3年~26)
23	火	□言語聴覚士巡回指導⑤
24	水	
25	木	
26	金	□作業療法士巡回指導⑫
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	高修学旅行(~11/2) 中学部施設実習(~11/2)
31	水	



大越さん、豊宮さん、植木さん 感動と希望をありがとう

平成24年度 宮城県 就学啓発推進会議 地域での豊かな生活に向けて 自立と社会参加を支援するために

『地域での豊かな生活に向けて—自立と社会参加を支援するために—』のテーマのもと、9月20日（木）平成24年度就学啓発推進会議が本校体育館を会場に開催されました。県内各地から特別支援学校や支援学級の教員や保護者、福祉関係者などが多数集まり、それぞれの形で豊かな地域生活を送る特別支援学校卒業生3人のお話を伺いました。

第一部は「人は人を人にする ～いのちのことば～」と題する名取支援学校卒業の詩人、大越桂さんの講演。13歳で気管切開のために声を失った桂さんが筆談によるコミュニケーションを獲得できた喜びなどを、お母さんの手のひらに綴りながら会場に届けました。

第二部は「地域で働きながら暮らす卒業生」と題する本校高等部卒業生による体験発表。平成15年度卒業でサンネットなごみで働いている植木智史さんは①サンネットなごみでの仕事②自治会活動③休日の過ごし方④将来の夢を、平成17年度卒業でイオン石巻店で働いている豊宮沙祐里さんは①就職までの歩み（職業能力開発校進学）②イオンでの仕事③休日の過ごし方④将来の夢をそれぞれ発表しました。

地域の一員として地域の方々のためにと努力する3人のお話は200名を越す参加者に大きな感動と希望を与えました。

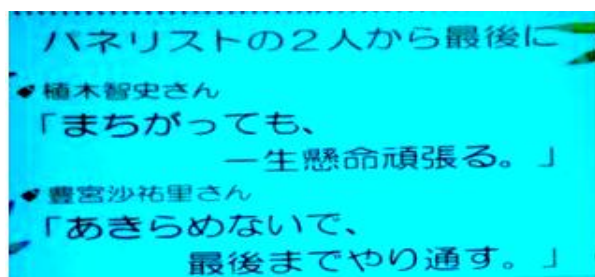


お母さんに指文字で思いを伝える桂さんと、進行と詩の朗読をした言葉アーティストの渡辺祥子さん。



参加者の感想

- 大越さんの詩とお話に深く感動いたしました。また、第二部のパネリストのお二人の体験談や仕事に対する姿勢から多くを学ばせていただきました。
- 障害を抱えた子が社会に一生懸命参加されている様子がよく分かりました。
- 今日はありがとうございました。障がいをもつ子どもが、自分を必要としてくれる場所を見つけて活躍することは大変ですが、一緒に見つけてあげられるようにしていければと思います。
- 大越さんの言葉は親の立場として「どきっ」としました。我が子も伝えたいことがもっとあるだろうなあと思いました。
- 桂さんのお話は子供の心の中を考えさせられました。もっとも自分の気持ちが表現できるように、支援していきたいと思っています。卒業生の方のお話が聞けて、就労に向けて励みになりました。ありがとうございました。
- 大越さんの表現力の豊かなお話に本当に驚きました。表現することのできる術を見つけることができ、すてきに輝いている桂さんの言葉一つ一つに感銘を受けました。私自身も今、目の前の子供の声なきことばに耳（心）をかたむけたいと思います。植木さん、豊宮さんの頑張っている様子にも感動しました。
- 将来に向けて大切にしていかなければならないことを教えていただいた気がしました。サポートする側として、今日のお話を糧にあきらめずにがんばりたいと思います。



コーディネーターの齋藤さんの優しい語りかけに応え、日頃の思いをたくさん話してくれた植木さんと豊宮さん。